

8. 使用した調査票

I 就学前児童保護者

子ども・子育て支援新制度とは？

平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が可決・成立し、同月に公布されました。この関連3法は、すべての子どもの良質な成長環境を保障し、子ども・子育て家庭を社会全体で支援することを目的とし、制度、財源を一元化して新しい仕組みを構築し、子どもの幼児期の学校教育・保育の一体的な提供、保育の量的拡充、家庭における養育支援を総合的に推進していくとされています。



子ども・子育て支援の意義＝子どもの視点に立った、子どもが豊やかに成長することができる社会の実現

この子ども・子育て支援の意義に基づき、子育ての第一義的責任は親であり、家庭が教育の拠点であるという前提のもと、保護者が、子育てについての責任を果たせるよう、課題解決に向けた取り組みを進めます。



- 質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供
- 待機児童解消に向けた保育の量的拡大・確保及びひ子どもが減少傾向にある地域の保育支援
- 地域の子育ての一層の実現

用語の定義

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
教育	家庭や地域での教育を含めた広い意味と、幼稚園における学校教育という意味がある

（就学前児童保護者用）

豊島区 子育て支援ニーズ調査ご協力のお願い

区民の皆様には、日ごろから区政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。豊島区では、次世代を担う子ども達の健やかな成長と子育てを支える地域社会の形成をめざし、「豊島区子どもプランー次世代育成支援行動計画」に基づき、さまざまな子育て支援に関する取り組みを進めてまいりました。

このたび、この計画の期間満了に伴い、新しい子ども・子育て支援制度に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなり、区民のみならず子ども・子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するため、ニーズ調査を実施することといたしました。

このニーズ調査は、住民基本台帳の中から小学校就学前（0～5歳）のお子さん1,500名を無作為に選び、その保護者を対象にお願ひするものです。ご回答いただいた内容は、今後の子育て支援を進めていくための基礎資料にのみ利用させていただきます。回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にのちたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

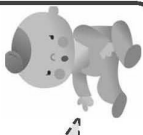
平成 25 年 11 月

豊島区

ご記入にあたってのお願い

1. 封筒の宛て名のお子さんについて、お答えください。
2. アンケートは、お子さんの保護者の方がお答えください。「あなた」とはアンケートに回答される方を表します。
3. 回答は、当てはまる回答の数字に○印をつけてください。数字を記入する場合があります。また、設問によって○をつける数が増えますので、注意書きに沿ってご記入ください。
4. ご記入いただいたアンケートは、平成 25 年 11 月 19 日（火）までに、同封の返信用封筒に入れ、お近くの郵便ポストにご投函ください。切手は必要ありません。

調査に関するご質問は…
 豊島区子ども家庭部子ども課 子ども施策調整係
 電話：03-3981-1381
 までお問い合わせください！



1 封筒の宛て名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます

問1 宛て名のお子さんの生年月月をご記入ください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枚に一字。)

平成 □□年 □□月 □□日

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛て名のお子さんからみられた関係でお答えください。(○は1つ)

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問3 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問4 宛て名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしているのはどなたですか。宛て名のお子さんからみられた関係でお答えください。(○は1つ)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他 ()

問5 宛て名のお子さんの同居している家族は何人ですか。なお、玄関は別でも隣接する2戸や2世帯住宅の場合は、同居とみなして合計人数を書いてください。

□□人(宛て名のお子さんを含めて)

問6 宛て名のお子さんは何人兄弟・姉妹ですか。宛て名のお子さんを含めた人数をお答えください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上

問7 一番大きいお子さん(長子)と一番小さいお子さん(末子)の年齢を平成25年4月1日現在でお書きください。お子さんが一人だけ(ひとりっ子)の場合は記入する必要はありません。

1. 一番大きいお子さん □□歳 2. 一番小さいお子さん □□歳

問8 宛て名のお子さんと同居されているご家族と、近くに住んでいらっしゃる※方の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください(続柄は宛て名のお子さんからみられた関係)。
なお、父親または母親が単身赴任の場合は、その他に○をつけ、単身赴任している方がたれかを記入ください。また、玄関は別でも隣接する2戸や2世帯住宅の場合は、同居とみなしてください。
(※「近く」とはおおむね30分以内で行き来できる範囲のこと)

1. 父母同居 2. 父親同居(ひとり親家庭) 3. 母親同居(ひとり親家庭)
4. 祖父同居 5. 祖母同居 6. 祖父母が近くに居住
7. 祖父のみ近くに居住 8. 祖母のみ近くに居住 9. その他 ()

問9 お住まいのまちをどちらですか。(○は1つ)

- 1. 駒込 2. 巣鴨 3. 西巣鴨 4. 北大塚 5. 南大塚
- 6. 上池袋 7. 東池袋 8. 南池袋 9. 西池袋 10. 池袋
- 11. 池袋本町 12. 雑司が谷 13. 高田 14. 目白 15. 南長崎
- 16. 長崎 17. 千早 18. 要町 19. 高松 20. 千川

問10 豊島区に、通算で何年お住まいですか。(○は1つ)

- 1. 1年未満 2. 1年～5年 3. 6年～10年
- 4. 11年～15年 5. 16年～20年 6. 21年以上

問11 豊島区にお住まいになるようになったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 親(または配偶者の親)の代りから 2. 親(または配偶者の親)の介護等のため
- 3. 保育所や幼稚園等、子育ての環境がよい 4. 小学校等の教育環境がよい
- 5. 本人(または配偶者)の通勤に便利 6. 子どもの通学に便利
- 7. 山手線や地下鉄等に近く何かと便利 8. その他 ()

2 封筒の宛て名のお子さんの保護者の就業状況についてうかがいます

この項目に出てくる「フルタイム」「パート・アルバイト等」とは…

- フルタイム
 - 1週5日程度・1日8時間程度の就業
- パート・アルバイト等
 - フルタイム以外の就業

問12 宛て名のお子さんの保護者の現在の就業状況(自営業、家族従事者を含む)をうかがいます。

項目	○は1つ	
	母親※	父親※
ア. フルタイムで就業しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
イ. フルタイムで就業しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
ウ. パート・アルバイト等で就業しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
エ. パート・アルバイト等で就業しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
オ. 以前は就業していたが、現在は就業していない	5	5
カ. これまで就業したことがない	6	6

※「母親」の欄は父子家庭の場合、記入は不要です。また「父親」の欄は母子家庭の場合、記入は不要です。
※ 保護者が「自営業、家族従事者」の場合は、従事している平均的な就業時間で「フルタイム」か「パート・アルバイト」の別れを判断して該当欄に記入してください。

※ 以下、問17まで、「自営業、専従従事者」の場合は、認問中の用語の「就労」を「就業」とみなしてお答えください。また、平均的な「就業時間」より、「フルタイム」か、「パート・アルバイト」かの何れかを判断して該当欄に記入してください。

【問12の「母親」または「父親」で「ア」～「エ」=4（就労している）を選択した方】

問13 週のおおよその就労日数、家を出る時間と家に着く時間、土曜日や日曜日・祝祭日の就労状況、通勤時間についてご記入ください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（数字は一律に一字）。

【母親】（父子家庭の場合、記入は不要です）

※時間の記入については、24時間制（例：午後5時⇒17時）で記入してください。

ア. 就労日数	週（ ）日
イ. 家を出る時間と家に着く時間	□□時□分 から □□時□分 時まで
ウ. 土曜日の就労	1. 毎週休み 2. 月に（ ）日就労
エ. 日曜日・祝祭日の就労	1. すべて休み 2. 時々就労 3. ほとんど就労
オ. 通勤時間	1. なし 2. 15分未満 3. 15分～30分未満 4. 30分～1時間未満 5. 1時間～1時間30分未満 6. 1時間30分以上

【父親】（母子家庭の場合、記入は不要です）

※時間の記入については、24時間制（例：午後5時⇒17時）で記入してください。

ア. 就労日数	週（ ）日
イ. 家を出る時間と家に着く時間	□□時□分 から □□時□分 時まで
ウ. 土曜日の就労	1. 毎週休み 2. 月に（ ）日就労
エ. 日曜日・祝祭日の就労	1. すべて休み 2. 時々就労 3. ほとんど就労
オ. 通勤時間	1. なし 2. 15分未満 3. 15分～30分未満 4. 30分～1時間未満 5. 1時間～1時間30分未満 6. 1時間30分以上

問14 宛て名のお子さんの時に利用された育児休業は、誰がどれくらい利用しましたが、母親と父親の両方が利用した場合は、両方に○をつけてください。
 また、利用された方が職場復帰した時のお子さんの月齢をご記入ください。

1. 母親が利用した（取得期間：□□か月）	2. 父親が利用した（取得期間：□□か月）
⇒（職場復帰した時のお子さんの月齢：□□か月） ⇒（職場復帰した時のお子さんの月齢：□□か月）	
3. 利用しなかった	4. 制度がなかった

【問12の「母親」または「父親」で「ウ」=3または「エ」=4（パート・アルバイト等で就労）を選択した方】

問15 フルタイムへの転換希望はありますか。

項目	○は1つ	
	母親	父親
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3. パート・アルバイト等就労を続けることを希望	3	3
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

【問12の「母親」または「父親」で「オ」=5または「カ」=6（就労していない）を選択した方】

問16 就労したいという希望はありますか。

【母親】（番号と記号それぞれ○は1つ。また数字は一律に一字。）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

⇒希望する就労形態

ア. フルタイム
 イ. パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）
 ⇒1週あたり□□日 1日あたり□□時間

【父親】（番号と記号それぞれ○は1つ。また数字は一律に一字。）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

⇒希望する就労形態

ア. フルタイム
 イ. パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）
 ⇒1週あたり□□日 1日あたり□□時間

【問16の「母親」または「父親」で「2」または「3」を選択した方】

問17 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。（○は1つ）

項目	○は1つ	
	母親	父親
ア. 保育園などの保育サービスが受けられないため	1	1
イ. 子育てしながら働ける適当な仕事がないため	2	2
ウ. 自分の知識や能力に合う仕事がないため	3	3
エ. 子どもを預けて働くことへの家族の理解が得られないため	4	4
オ. その他（具体的に： ）	5	5

【問19で「2. 幼稚園(通常の教育時間)」と「3. 幼稚園の預かり保育」を選択した方】

問21 幼稚園の在園時間、入園理由についてご記入ください。(時間の記入は、午後6時の場合18時のようにすべて24時間前でお書き下さい。)

ア. 在園時間	□□時 □□分 ~ □□時 □□分	□□分まで
イ. 入園理由 (1つに○)	1. はじめから幼稚園に入れようと思っていた 2. 預かり保育で希望時間まで預けられる 3. 保育園に入れたかったが、入園できる条件に合わなかった 4. 保育園に申し込んだが、入れなかった 5. その他 ()	

【問18で「現在」「2. 利用していない」を選択した方】

問22 幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していない理由は何ですか。(○は1つ)

1. (子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている 3. 近所の人や友人・知人がみている 4. 預けたいが、保育サービスに空きがない 5. 預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない 6. 預けたいが、延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない 7. 預けたいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない 8. 子どもがまだ小さいため () 歳くらいになったら預けようと考えている 9. その他 ()

問23 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛て名のお子さんの平日の教育・保育の事業を選択の際に、重視する点ほどよろしく記載してください。重視する事業が高い方から5つを○で例に示すようにその順番を記入してください。なお、③と④を選ばれた方は、該当欄に○を付け、点線内も記入してください。

例	記入	選択項目	記入	選択項目
1		①自宅の近く ③職場の近く ア. 職場が区外 イ. 職場が区外 ウ. その他 ()	②子どもが将来通う小学校のある居住地区内にあること ④駅の近く ア. 自宅からの徒歩距離 () 駅 イ. 職場(学校)からの徒歩距離 () 駅 ウ. その他 ()	
2		⑤兄弟姉妹が通っている ⑦利用保育を実施している ⑨施設・設備が整っている ⑩給食を提供している ⑬保育料が安い ⑭園長・保育士・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい ⑰その他 ()	⑥夜間や休日、延長保育に利用している ⑧休時や病後時の対応を行っている ⑩送迎サービスを行っている ⑫地域の評判がよい ⑭行事が充実している ⑯保育だけでなく、さまざまな教育プログラムを提供している	

問24 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛て名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(あてはまるものすべてに○)

1. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	【保育料】 幼稚園部分は各施設で異なり、長時間保育の部分は保護者の所得により異なる施設もあります。
2. 幼稚園(通常の教育時間の利用)	【保育料】 豊島区立幼稚園は1万円/月、私立幼稚園は施設により異なります。
3. 幼稚園の預かり保育(通常の教育時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	【保育料】 区立幼稚園は5千円/月、私立幼稚園は施設により異なります。
4. 認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で東京都の認可を受けたもの)	【保育料】 お子さんの年齢や世帯の所得の状況に応じて決定されます。
5. 小規模な保育施設(豊島区が認定した保育所で、保育人数が6人以上19人以下で保育を実施する事業です。対象は0歳以上3歳未満)	【保育料】 週5日の利用の場合、2歳児の場合で約2万8千円/月で年齢と保育時間で異なります。
6. 家庭的保育(「保育ママ」；保育者の居宅等で子どもを保育する事業)	【保育料】 週5日の利用の場合、8時間保育(8:30-17:00)が約5千円/月。
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設で児童を保育する施設)	【保育料】 各施設により異なります。
8. 認証保育所(東京都が認証した施設)	【保育料】 各施設により異なります。
9. その他の認可外保育施設(ベビーホテル等)	【保育料】 各施設により異なります。(認可保育所との差額が約5千円/月以上の時には補助あり)
10. 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	【保育料】 事業者により異なります。
11. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	【利用料金】 平日(7:00-19:00)が800円/1時間。
12. その他 ()	

4 待機児童対策についてうかがいます

問25 あなたは、宛て名のお子さんを預けるため、この1年間で保育所探しを行いましたか。(○は1つ)
 1. 探した・探している 2. 保育所探しをしていない

【問25で「1. 探した・探している」を選択した方】

問26 保育所探しの結果、どのようになりましたか。(○は1つ)
 1. 認可保育所に入園した
 2. 幼稚園に入園した
 3. 認証保育所に入園した
 4. 小規模保育施設に入園した
 5. 認可外保育施設に入園した
 6. 家庭的保育を利用することにした
 7. 事業所内保育施設に入園した
 8. どこにも入れず、現在も探している
 9. 保育の利用はあきらめた
 10. 結果待ち
 11. その他 ()

【問25で「2. 保育所探しをしていない」を選択した方】

問27 保育所を探していない・探さなかった理由は何ですか。(もつともあてはまるものに○は1つ)
 1. 必要がない 2. 保育所の利用をあきらめている
 3. これから探そうと思っている 4. 子どもがまだ小さい
 5. 入園した幼稚園の預かり保育で十分 6. 入園した幼稚園を継続するつもり
 7. その他 ()

5 宛て名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

問28 宛て名のお子さんは、現在、親子が集まって過ごしたり、相談したり、情報提供を受けたりする以下のような事業を利用していますか。おおよその利用回数(頻度)もご記入ください。(あてはまるものすべてに○。また数字は1桁に一字。)

1. 子ども家庭支援センター	⇒1週あたり□□回、もしくは1か月あたり□□回程度
2. 子育てひろば	⇒1週あたり□□回、もしくは1か月あたり□□回程度
3. その他 ()	⇒1週あたり□□回、もしくは1か月あたり□□回程度
4. 利用していない	

子ども家庭支援センターとは…
 園庭開放に加え、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりすることができる施設があります。豊島区では東部「とわむ」と西部「とむとむ」の2箇所があります。
 子育てひろばとは…
 区内各地区に開設されている区民ひろばの中に専用のスペースを確保し、輪軸時間内はいつでも利用できるようになっています。乳幼児と保護者の利用が基本ですが、ボランティアの利用もあり、手遊び、体験などの簡単なプログラムや、保育士等の職員による育児相談も実施しています。

問29 豊島区の「子ども家庭支援センター」で子育てひろばについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。
 おおよその利用回数(頻度)もご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。(○は1つ。また数字は1桁に一字。)

ア、「子ども家庭支援センター」について

1. 利用していないが、今後利用したい	⇒1週あたり□□回、もしくは1か月あたり□□回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	⇒1週あたり□□回、もしくは1か月あたり□□回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない	

イ、「子育てひろば」について

1. 利用していないが、今後利用したい	⇒1週あたり□□回、もしくは1か月あたり□□回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	⇒1週あたり□□回、もしくは1か月あたり□□回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない	

6 宛て名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

問30 宛て名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。
 希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(曜日ごとにそれぞれ○は1つ。また数字は1桁に一字。)

※ 定期的な保育・教育事業とは、問19(7頁)に示す事業で幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親戚・知人による預かりは含みません。

ア、土曜日	1. 利用する必要はない	2. ほぼ毎週利用したい	3. 月に1~2回は利用したい
		利用したい時間帯 □□時 から □□時まで	
イ、日曜日・祝日	1. 利用する必要はない	2. ほぼ毎週利用したい	3. 月に1~2回は利用したい
		利用したい時間帯 □□時 から □□時まで	

【幼稚園を利用される方】

問31 宛て名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(○は1つ。また数字は1桁に一字。)

1. 利用する必要はない	
2. 休みの期間中ほぼ毎日利用したい	利用したい時間帯 □□時 から □□時まで
3. 休みの期間中週に数日利用したい	□□時 から □□時まで

9 宛て名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

子どもスキップ：
 小学校施設・体育館・校庭等を利用して、全児童を対象とする育成事業と学習クラブを総合的に展開し、自主的な参加のもと遊びを通して子どもたちが交流を広げる事業です。
 「子どもスキップ」では、「学習クラブ登録児童」と学習クラブ登録児童以外の「一般児童」が交流することを目的のひとつとしています。

学習クラブ：
 保護者が労務等により放課後登校にない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
 ※現在の対象は小学校1～3年生ですが、新制度では6年生まで利用できるようになる予定です。

放課後子ども教室：
 地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や区民ひろばで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験してもらったりします。子どもスキップに利用の届出をしている小学生（区内在住、または当該小学校に在学の小中学生）が利用できます。

問41 宛て名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。→あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学習クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内にご記入ください。（あてはまるものすべてに○。また数字は一律に一字。）

1. 自宅	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
2. 祖父母や友人・知人宅	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
3. 習い事（各種音楽教室、各種球・カワ、学習塾など）	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
4. 子どもスキップ	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
5. 児童館	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
6. 放課後子ども教室	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
7. 学習クラブ	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
8. 区民ひろば	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
9. ファミリー・サポート・センター	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
10. その他（公園など）	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時

問42 宛て名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。→あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学習クラブ」の場合には、利用を希望する時間口内にご記入ください。（あてはまるものすべてに○。また数字は一律に一字。）

1. 自宅	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
2. 祖父母や友人・知人宅	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
3. 習い事（各種音楽教室、各種球・カワ、学習塾など）	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
4. 子どもスキップ	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
5. 児童館	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
6. 放課後子ども教室	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
7. 学習クラブ	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
8. 区民ひろば	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
9. ファミリー・サポート・センター	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時
10. その他（公園など）	週に <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時

10 子育て全般についておうかがいます

問43 あなたは、子育てを楽しく感じることが多いと思いますが、それとも辛く感じることが多いと思いますか。（○は1つ）

1. 楽しいと感じることの方が多い

2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい

3. 辛いと感じることの方が多い

4. その他（ ）

5. わからぬ

問44 あなたは、子どもにどのような人になって欲しいと思いますか。（○は3つまで）

1. やさしく思いやりのある人

2. 自分で考え行動できる人

3. リーダーシップのある人

4. 困難に打ち勝つ強い心を持つ人

5. まじめで誠実な人

6. 地域や社会に役立つことができる人

7. 社会のルールを守り、他人に迷惑をかけない人

8. 目標に向かって努力する人

9. その他（ ）

問45 あなたがお子さんの世話をする上で、祖父母や友人・知人による支援の状況は、次のどれに当てはまりますか。それぞれの項目ごとに1つだけ○をつけて下さい。（○は1つ）

A. 祖父母 1. 定期的に支援してもらえる 2. 緊急時には支援してもらえる 3. 支援はない

イ. 友人・知人 1. 定期的に支援してもらえる 2. 緊急時には支援してもらえる 3. 支援はない

問46 あなたは、子育てについて地域の方々からの支援があればよいと感じていますか。（○は1つ）

1. 感じることがある 2. 感じることがない 3. わからぬ

問47 あなたは、地域全体で子育てを支援していく“地域の子育て力”を向上させるためには、今後どのような取り組みを進めることが有効だと思いますか。（○は3つまで）

1. 子どもを持つ人自身が主体的に行う情報交換や交流・活動など

2. 企業や商店街が行うイベント開催や施設提供、優待事業など

3. NPOが行う情報提供、イベント開催、子育て支援サービスの提供など

4. ボランティアによるさまざまな子育て支援サービスの提供など

5. 町内会・自治会等によるお祭りやイベント開催、防犯活動など

6. 隣り近所の人や子どもと顔見知りになり、声を掛け合う関係をつくるなど

7. 専門家にいる助言や学習会開催、地域の子育てネットワークの構築支援など

8. その他（ ）

問48 あなたは、現在、町会や青少年育成委員会などの地域の子育て支援活動に参加されていますか。
(○は1つ)

1. すでに参加している／参加したことがある
2. 参加していないが、将来、参加したい
3. 参加していないし、将来も参加しようとは思わない

問49 育児に関して、特に不安なことや悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病気や発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 遊ばせ方やしつけに関すること
4. 子育てが精神的負担になっていること
5. 仕事と子育ての両立に関すること
6. 経済的な負担に関すること
7. 気軽に相談できるところがわからないこと
8. 区の子育て支援事業などに関する情報が入りにくいこと
9. その他 ()
10. 特にない

問50 育児に関する不安や悩みをどなたに相談していますか。不安や悩みが特にならない場合は、不安や悩みがあった場合を想定してお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 身内 (親、配偶者、兄弟姉妹など)
2. 隣り近所の人
3. 職場の人や知人・友人
4. 保育園や幼稚園の先生
5. 児童館・区民ひろば (子育てひろば) の職員
6. 民生委員・児童委員
7. 子ども家庭支援センターの職員
8. 病院や診療所の医師
9. 保健所の職員
10. 専門のカウンセラー (区の相談員など)
11. 育児書・育児雑誌
12. インターネットでの育児に関するホームページの相談コーナーやブログ等
13. ソーシャルネットワーク (SNS) の活用
14. その他 ()
15. 誰にも相談しない

17

問51 身近な地域で、育児に関する情報・相談の場があった場合、どのような場になってほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 母親や父親同士が集い、情報交換できる
2. 子どもに遊びを教えたり、しつけを教えてくれる
3. その場で専門職員に相談したり、情報を得ることができる
4. 家庭訪問して、相談ののってくれる
5. 夜間や日曜でも相談したり、情報を得ることができる
6. 電話やインターネットで相談したり、情報を得ることができる
7. その他 ()

問52 身近な場所で、子育てに関する情報・相談を気軽に受けられるとしたら、どこが最もよいと思いますか。(○は1つ)

1. 保育園・幼稚園
2. 保健所
3. 児童館・区民ひろば (子育てひろば)
4. 子ども家庭支援センター
5. 区役所・区民事務所
6. その他 ()

問53 現在、子育てに関してどのような情報が欲しい、あるいは不足していると感じますか。(○は3つまで)

1. 子どもの病気や発達に関する情報
2. 子ども食事や栄養に関する情報
3. 子どもの遊ばせ方やしつけに関する情報
4. 虐待防止に関する情報
5. 医療機関に関する情報
6. 子育てに関する相談窓口の情報
7. 保育園、保育施設、幼稚園等に関する情報
8. 音楽教室・体育教室などの習い事や塾の情報
9. 小学校 (区立、私立) に関する情報
10. 中学校など子どもの進路や進学に関する情報
11. 子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等の情報
12. 外出先のベビーベッドや授乳スペース、おむつ替えスペース等の情報
13. 子育て支援に関する区の施策や事業等に関する情報
14. ハビレジッターやホームヘルパー等自宅での保育サービスに関する情報
15. 子育てサークル等、親同士のネットワークに関する情報
16. 駅や歩道橋等のエレベーター、エスカレーター設置に関する情報
17. その他 ()
18. 特にない

18

問54 子どもを連れて外出する際に、特に気になる点はありますか。(〇は3つまで)

1. 近所に公園や広場がない
2. 公園の遊具等が使いにくい
3. おむつ替えや授乳のできる場所がない
4. 街なかにはんち等の休める場所や設備がない
5. 雨の日に子どもを遊ばせる場所がない
6. 公園に不審者がいる等、安全面で不安がある
7. 歩道がない通りが多く、交通事故の心配がある
8. 歩道の段差、障列物、自転車などが通行の妨げになっている
9. 緑や広い歩道が少ないなど、街並みにゆとりやうるおいが少ない
10. 歩道を自転車やスปีドを出して走行する
11. その他 ()

問55 豊島区が平成18年3月に制定した「子どもの権利に関する条例」について、ご存じですか。(〇は1つ)

1. 内容をよく知っている
2. 内容を少し知っている
3. 内容を聞いたことがあるが、内容は知らない
4. 名前を聞いたことがない/知らない

問56 子育て支援に関する施策や事業について、どのようなことを望みますか。(〇は5つまで)

1. 母乳や乳幼児の健康診査・予防接種等の母子健康事業の充実
2. 休日・夜間診療などの小児医療体制の充実
3. 子育て期の生活環境、住環境の整備
4. 子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備
5. 子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備
6. 幼稚園・小中学校における教育内容や教育環境の充実
7. 小学生、中学生が安心して過ごせる、子ども同士の交流・活動の場の整備
8. 子育てに関する手当の充実や子育てにかかる経済的負担の軽減
9. 在宅で子育てをしている家庭への支援サービスの充実
10. 障害のある子どもや、ひとり親家庭などへの特に配慮を必要とする家庭への支援の充実
11. 子育てに関する相談支援・情報提供・学習機会の充実
12. 仕事と子育ての両立を支援する保育サービスの充実
13. 育児休業制度の拡充、労働時間の短縮など企業の子育て支援の取り組みの促進
14. 家事・育児人の男女共同参画の意識づくりの推進
15. 子育て支援グループや地域団体などの活動支援、ネットワークづくりの推進
16. 児童虐待やいじめなどの権利侵害に対する対応の強化
17. 小中学生が、学校・児童館・中高生センター・ジャンプ以外で安心して相談できる場と人の整備
18. その他 ()

問57 あなたは、豊島区の中で「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」について、どのように感じますか。それぞれの項目ごとにお答えください。(〇は1つ)

項目	評価	とても悪い	少し悪い	どちらでもない	少し良い	とても良い
ア. 子どもの権利※1を保障する取組みが進んでいる	1	2	3	4	5	6
イ. 子どもの遊び場が充実している	1	2	3	4	5	6
ウ. 安心して子どもを産む環境づくりができています	1	2	3	4	5	6
エ. 職業生活と家庭生活を両立※2させるための支援が行われている	1	2	3	4	5	6
オ. 子育てを視野にいれた住宅対策や道路・施設整備が行われている	1	2	3	4	5	6
カ. 保育施設や幼稚園での保育・教育が充実している	1	2	3	4	5	6
キ. 学校教育が充実している	1	2	3	4	5	6
ク. 地域における子育て支援や見守り活動が活発に行われている	1	2	3	4	5	6

※1. 1989年に子どもの権利条約が国連総会で採択され、日本は1994年に条約を批准しました。「生きる権利／育つ権利／守られる権利／参加する権利」が、子どもの権利の柱となっています。
 ※2. 「職業生活と家庭生活を両立」とは、仕事と私生活の両方を重要視する考え方で、ワーク・ライフ・バランスとも呼ばれています。

問58 その他、子育てに関して日頃お感じになっていることや悩みごと、あるいはお子さんを育てている上で気を付けていること、豊島区への要望事項等がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
 切手は貼らずに同封の封筒に入れて、ご返函ください。